

特集 続く夏の伝統

白石夏まつり2019



6



5



7



8



12



11

9



1

新しい夏まつりを開催
 8月10日、白石夏の風物詩「白石夏まつり2019」がすまいる広場で行われ、約3,200人の人出で賑わいをみせました。
 午後3時から始まったおまつりは、オープニングイベントとして、白石市消防団伝統階子乗り隊が高さ8mの階子の上で妙技を披露。続いて特設ステージでは、ダンス教室や日本舞踊教室に通う子どもたち、ダンスサークルや太鼓団体による演技などを披露しました。白いトモロコシ「ピュアホワイト」の早食い大会も行われ、午後6時から公務員DJによる音楽パフォーマンスでも賑わいました。
 また同日、JR白石駅前では、正午からJR社員による「白石夏まつり」が、午後6時30分から白石青年会議所主催の「白石駅前盆踊りみんなで踊らナイト2019」が開催されました。盆踊りの審査中には、益岡公園から約90発の花火が打ち上げられ、多くの人が夏の夜空の彩りを楽しみました。寿丸屋敷では「白石和紙あかり作品展」が開催され、ワークショップで製作した白石和紙のあかり63点が展示されました。

見送られた夏まつりパレード
 白石の夏まつりは50年以上、白石音頭パレードは30年以上にわたって続いた夏の風物詩。一昨年の夏まつりでは、25団体約1,900人がパレードに参加し、中町から駅前通りを踊り歩き、訪れた約1万9,000人の観客を楽しませました。
 しかし、これまで事務局を担ってきた白石商工会議所が、人員不足などの都合で事務局を降りました。新しい担い手を模索するなか、6月に市観光協会が主催者を引き受けることを決め、限られた時間と人員、予算の中で、パレードの開催が見送られることになりました。さまざまな意見を出し合いながら準備を進め、駅前盆踊りとの同時開催、白石駅主催の夏まつり開催など、多くの方の協力で開催されたのが今年の夏まつりです。

1・5・7・8・12_特設ステージで各団体が日頃の練習の成果を披露しました 2・3_子ども向けに多くのイベントを企画した白石夏まつり 4・6_お客さんと賑わう出店。通り沿いに露店を出すお店も 9_音楽で会場を盛り上げる公務員DJ 10_夏まつりに訪れた札幌市白石区の皆さん(左3人) 11_白石市消防団階子乗り隊の演技 13・14_「ピュアホワイト」の販売。コンロで焼いて香ばしさアップ! 15_ピュアホワイト早食い大会の様子。優勝タイムは1本1分20秒!



15



14



13



4



3



2